

想いを胸に世界へ



CLOSE
UP
大村人

「目標は2024年のパリオリンピック」と語るのは、ドイツ・ブンデスリーガのユナイテッド・バレーズ・フランクフルトでリベロとして活躍中の井手智選手。

バレーと出会ったのは小学2年生、その後、大村工業高校、東亜大学でプレーを磨き、大学在学中に日本代表として出場したアジアバレーボール選手権ではチームを優勝に導くとともに、自身もベストリベロ賞を受賞しました。

Vリーグの東レアローズ在籍中には日本代表としてワールドグランドチャンピオンズカップに出場し、ベストリベロ賞に選出されるなど、実力を発揮します。

昨年、ユナイテッド・バレーズ・フランクフルトへの移籍が決まり、渡航の準備をしていた時に令和2年7月豪雨が発生。被災映像を目の当たりにした井手選手は、海外挑戦のために準備していたクラウドファンディングに災害支援を加え寄附を募りました。

大村の市民、出身者、縁のある人たちがら多くの寄附が集まり目標を達成。

井手選手は「クラウドファンディングを通じて、多くの人たちから大村への熱い想いを感じることができた。大村に役立つことをこれからも考えていきたい」と力強く語ってくれました。

今後ドイツでプレーする井手選手への期待が高まります。



Profile

いで・さとし
平成4年1月16日生まれ
旭が丘小でバレーを始め、大村工業高校、東亜大学を経て、東レアローズへ入団。現在はドイツのユナイテッド・バレーズ・フランクフルトに所属。ポジションはリベロ。ドイツ在住。29歳。

ユナイテッド・バレーズ・フランクフルト

井手 智さん



クローズ
アップ

大村人

vol.37

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。